ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

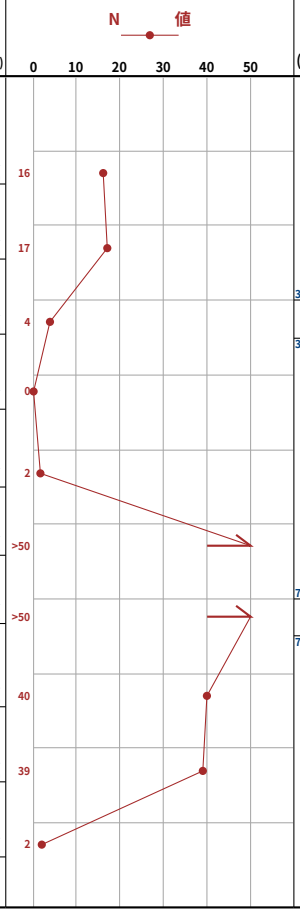
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-1	調査位置				北　緯	36 ° 54 ’ 55.6000 ”
発注機関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2009-10-05 ～ 2009-10-08	東　経	139 ° 57 ’ 51.9000 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	284.47 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具
総掘進長	10.45 m								エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	282.37	2.10	2.10		盛土(礫混じりシルト)(BS)	暗褐		硬い	礫混じりシルト 上部礫分多い 含水比・粘性中～下位 径φ10～50mm程度の礫混入		
2	281.57	0.80	2.90		盛土(シルト質砂)(SM)	暗灰	中ぐらい		シルト質細砂 火山性の細砂 少量の礫混じる		
3	278.27	3.30	6.20		ローム(Lm)	茶褐		軟らかい	火山灰質粘性土 含水比・粘性中位 比較的均質な層相		
7	274.67	3.60	9.80		砂礫(GS)	灰褐	非常に密な		径φ10～40mm程度の亜円礫主体 マトリックスは細粒土～粗砂 コア長40～80mm程度の粗石混入 全体的に風化礫の混入多い 含水比低い 深度8.00m付近逸水あり		
10	274.02	0.65	10.45		礫混じりシルト質砂(SM-G)	灰	非常に緩い		径φ10～20mm程度の礫混入 全体的にシルト分多く緩い		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	4	8	4	16／30	16
2.15	7	5	5	17／30	17
3.15	1	1	2	4／30	4
4.00	00／45			00／45	0
5.15	1／20	1／15		2／35	2
6.15	8	20	22／6	50／26	>50
7.15	22	28／8		50／18	>50
8.15	13	14	13	40／30	40
9.15	10	11	18	39／30	39
10.15	1／15	1／15		2／30	2



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
3.00	透水試験 1.45E-06					
3.50						
6.41						10/05
7.00	透水試験 1.64E-04					
7.33						10/06
7.50						
9.45						
10.45						10/07